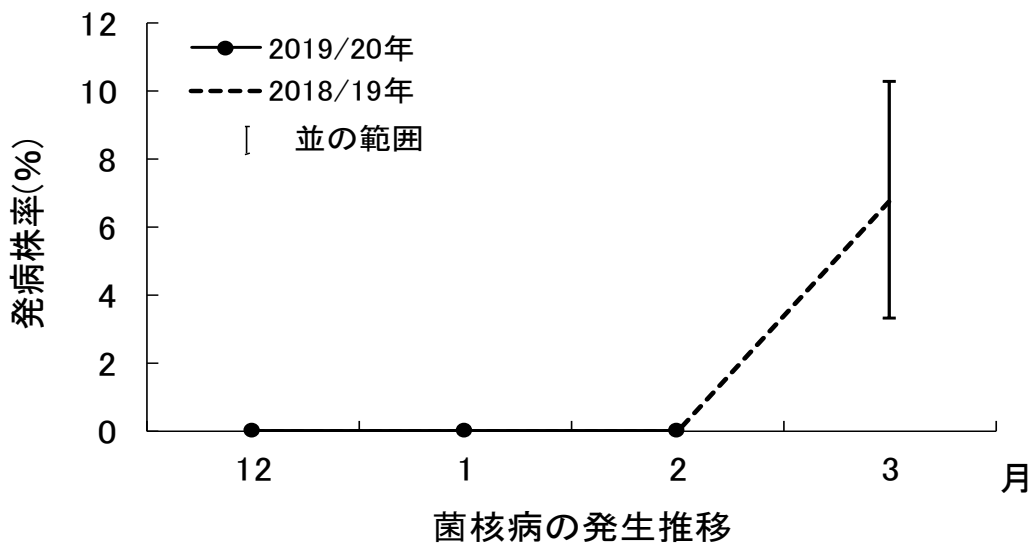


作物	さやいんげん(施設)	地域	宮古群島
病害虫名	菌核病		
予報	3 月の発生量 (平年比)	-	
	2 月からの増減傾向	-	
予報の根拠	2 月の発生量 (平年比)	-	
	その他 (気象要因など)		

調査結果

今期の推移



・発生ほ場率 : 0.0% (前作 : 0.0%)

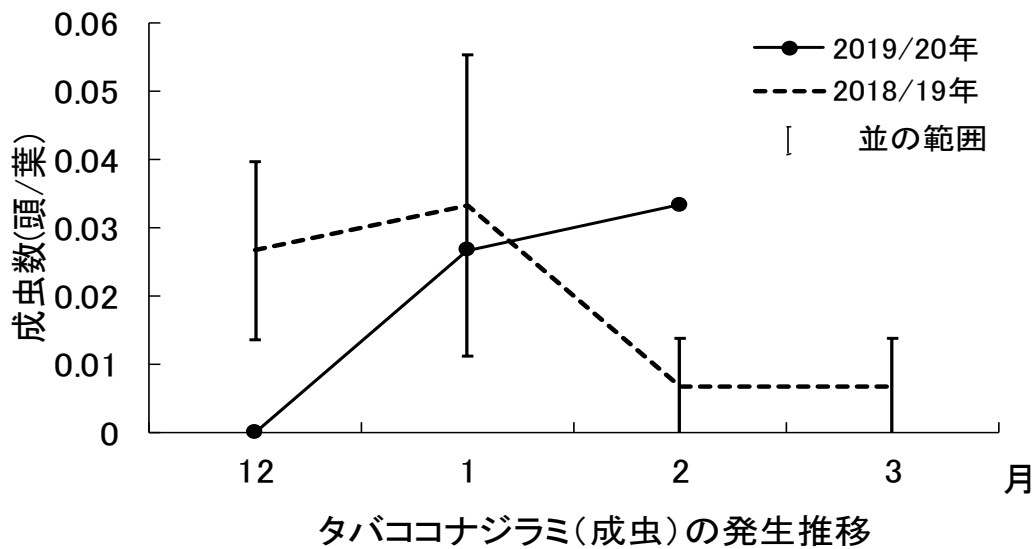
防除のポイント

- ・発病部位は、菌核が形成される前に早めに除去し、ポリ袋に入れるなどしてほ場外へ持ち出し処分する。
- ・多湿条件下で発生しやすいので、老葉病葉は取り除き透光通風をよくする。

作物	さやいんげん(施設)	地域	宮古群島
病害虫名	タバココナジラミ		
予報	3 月の発生量 (平年比)	-	
	2 月からの増減傾向	-	
予報の根拠	2 月の発生量 (平年比)	-	
	その他 (気象要因など)		

調査結果


今期の推移



・発生ほ場率：40.0%（前作：20.0%）

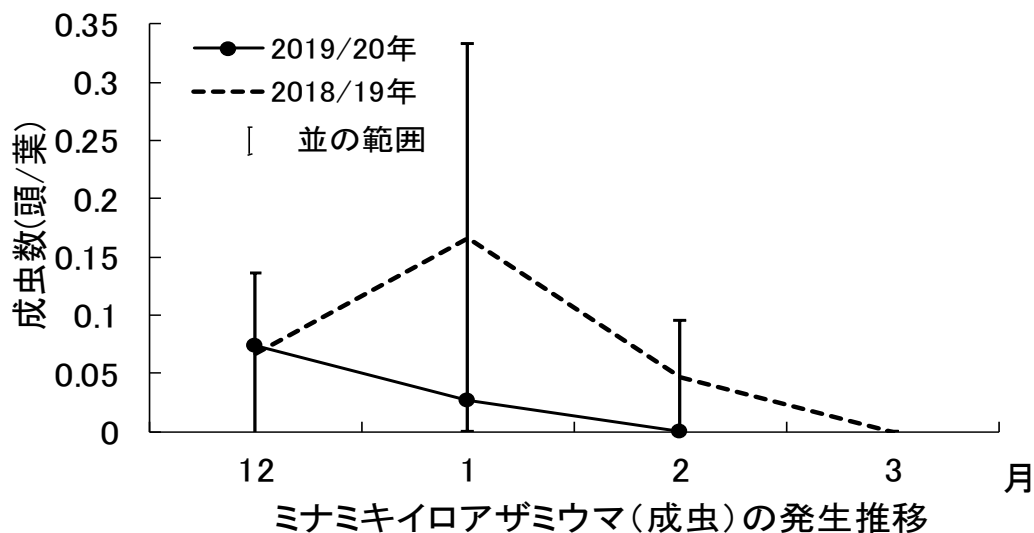
防除のポイント

- ・ほ場周辺の雑草は発生源になるので除去する。
- ・本種はさやの白化を引き起こすので、出入り口の防虫ネットを二重にするなどして、施設内への侵入を防止する。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。  
また、薬剤抵抗性の発達しにくい気門封鎖剤や微生物農薬を使用する。

作物	さやいんげん(施設)	地域	宮古群島
病害虫名	ミナミキイロアザミウマ		
予報	3 月の発生量 (平年比)	-	
	2 月からの増減傾向	-	
予報の根拠	2 月の発生量 (平年比)	-	
	その他 (気象要因など)		

調査結果

今期の推移



・発生ほ場率 : 0.0% (前作 : 20.0%)

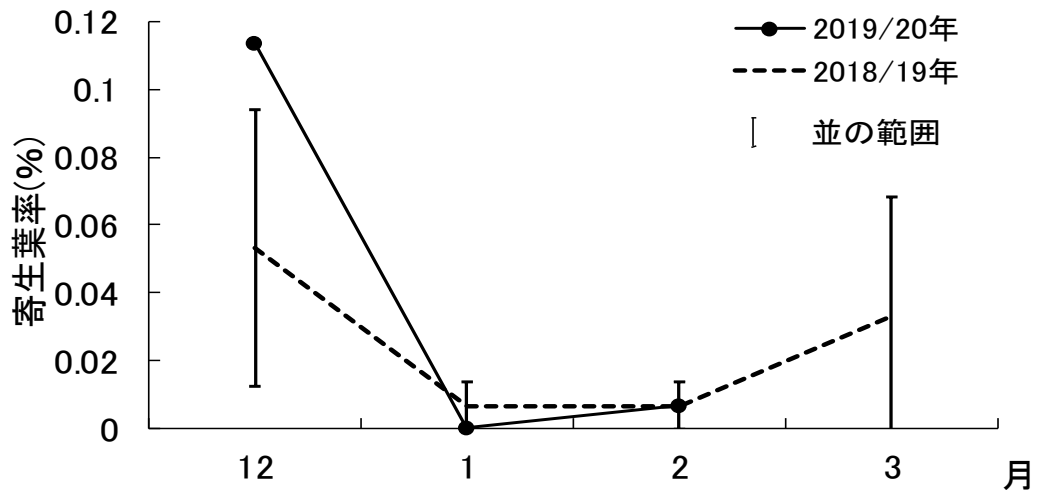
防除のポイント

- ・ほ場の出入口には二重カーテンなどを設置し、本種の侵入を防ぐ。
- ・ほ場周辺の雑草は本種の発生源となるので、除草を行う。
- ・多発すると防除が困難になるので、発生初期の防除を徹底する。
- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

作物	さやいんげん(施設)	地域	宮古群島
病害虫名	ハモグリバエ類		
予報	3 月の発生量 (平年比)	-	
	2 月からの増減傾向	-	
予報の根拠	2 月の発生量 (平年比)	-	
	その他 (気象要因など)		

調査結果

今期の推移



ハモグリバエ類(寄生葉)の発生推移

・発生ほ場率 : 20.0% (前作 : 20.0%)

防除のポイント

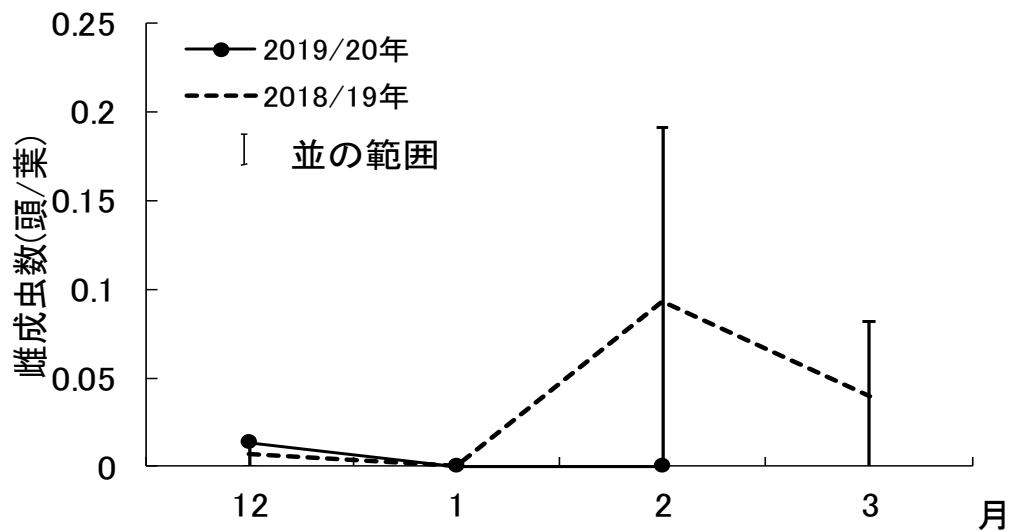
- ・摘葉等による残さは成虫の発生源となるので、ポリ袋に入れるなどして、ほ場外に持ち出し処分する。
- ・本種は薬剤抵抗性が発達し、また野外に多数の在来天敵が存在することから、天敵に影響の少ない選択性殺虫剤を使用する。



作物	さやいんげん(施設)	地域	宮古群島
病害虫名	ハダニ類		 ナミハダニ
予報	3 月の発生量 (平年比)	-	
	2 月からの増減傾向	-	
予報の根拠	2 月の発生量 (平年比)	-	
	その他 (気象要因など)		

調査結果

今期の推移



ハダニ類(雌成虫)の発生推移

・発生ほ場率 : 0.0% (前作 : 20.0%)

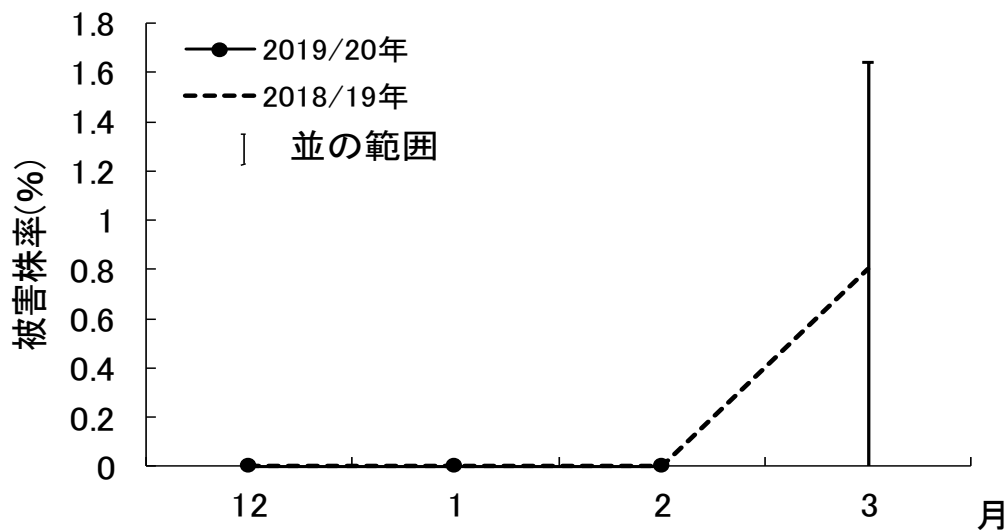
防除のポイント

- ・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。
- ・葉裏に多いことに留意しながら、丁寧に薬剤散布する。

作物	さやいんげん(施設)	地域	宮古群島
病害虫名	ホコリダニ類		
予報	3 月の発生量 (平年比)	-	
	2 月からの増減傾向	-	
予報の根拠	2 月の発生量 (平年比)	-	
	その他 (気象要因など)		

調査結果

今期の推移



ホコリダニ類の発生推移

・発生ほ場率 : 0.0% (前作 : 0.0%)

防除のポイント

- ・ 20℃での卵から成虫までの発育期間は13～17日と短く、短期間のうちに高密度になりやすいため、早期発見・防除に努める。
- ・ 薬剤が到達しにくい生長点付近や未展開葉に潜っているため、薬散は葉裏へ丁寧に行う。
- ・ ほ場内外に寄主植物(主にナス科雑草)が無いよう除草に努める。